

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
国語教育学演習Ⅰ	高山 実佐	2	都立高校で授業実践、生徒指導実践等を行ってきた実務経験を活かし、中等教育段階での国語科授業について受講者、現職の先生方、国語教育学関係の研究者とともに考え続けたい。
身体表現文化論Ⅰ	三遊亭 遊吉	2	落語家による授業。実際の落語を通して、江戸文化、また言葉、笑いのパターンなどを知ることが出来る。落語の原点・発生についての理解が可能となる。
身体表現文化論Ⅱ	三遊亭 遊吉	2	落語家による授業。実際の落語を通して、江戸文化、また言葉、笑いのパターンなどを知ることが出来る。落語の原点・発生についての理解が可能となる。
日本語教授法Ⅰ	有賀 千佳子	2	日本語学校等の現場を経て、大学の留学生日本語教育を行う。 また、専門職大学院や日本語養成講座などで、日本語教員の養成を行う。
日本語教授法Ⅱ	有賀 千佳子	2	日本語学校等の現場を経て、大学の留学生日本語教育を行う。 また、専門職大学院や日本語養成講座などで、日本語教員養成を行う。
放送文化論Ⅰ	須郷 信二	2	講師は、TBSテレビ、TBSラジオで、報道、番組制作に長年携わってきました。また、6年間人事部で採用にも関わっており、マスメディア志望者の就活アドバイス希望は歓迎です。
古典教育研究Ⅰ	塚原 明弘	2	都立高校で、教師を40年勤めました。定時制や職業高校から進学校まで経験しました。痛切に感じるのは、定時制で生徒の関心を引くために工夫したことが、進学校でも必要だったということです。進学を前提としない生徒に、知や教養の魅力で関心や好奇心を喚起しようと思いました。それが、合格や偏差値にとらわれた生徒にも有効だったのです。 君も、教育の道に踏み出したならば、生徒とともに成長してほしいと思います。
表現文化演習Ⅰ（２）	川口 晴美	2	詩人として活動し、自ら書くだけでなく詩誌その他で投稿作品の選者をつとめたり、社会人向けの詩の講座の講師を長年担当したりしている教員が、さまざまな方向性・レベルの詩を数多く読んでアドバイスしてきた経験を踏まえて学生たちの実作指導をする。
日本文学各論Ⅰ	杉本 圭司	2	2013年4月、「考える人」（新潮社）に小林秀雄についての長編批評「契りのストラディヴァリウス」を発表してデビュー。同年から現在に至るまで、小林秀雄をテーマとした講義を各所で実施。2019年9月、「小林秀雄 最後の音楽会」（新潮社）を刊行。他に「小林秀雄全集」の注釈、「人生の鍛錬 小林秀雄の言葉」（新潮新書）の編集協力など。

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
書道Ⅰ	横倉 佳男	2	担当教員は、1986年度からで中学・高等学校の教諭として勤務し、授業実践をしている。教育実習生の受入指導を担当した年度もある。生徒指導の実践、校務分掌の責務も果たしてきている実務経験を活かし、教職の意義や教員に求められる資質・能力についての指導を行っている。
文学部 日本文学科 専門科目の合計単位数 20 単位			

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
中国原典演習Ⅲ	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
中国民俗文化入門	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
中国原典研究Ⅲ	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
中国民俗文化特殊講義 A	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力について留意して授業を行っている。
中国学特殊講義ⅩⅢ（生活文化）	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
文学部 中国文学科 専門科目の合計単位数 10 単位			
科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
フランス語演習ⅠA	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語演習ⅠB	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語演習ⅡA	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語演習ⅡB	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語展開演習 B	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
文化総合演習 A	笠間 直穂子	2	ライターとしての経験を活かし、読みやすい日本語の文章表現習得を目指す授業を行っている。
文化総合演習 B	笠間 直穂子	2	ライターとしての経験を活かし、読みやすい日本語の文章表現習得を目指す授業を行っている。
ドイツ語展開演習 B	小笠原 藤子	2	各種資格試験に携わっている経験から、よりの確な指導をすることができる
文学部 外国語文化学科 専門科目の合計単位数 16 単位			

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
考古学各論I	大工原 豊	2	地方公共団体での埋蔵文化財専門職員および博物館学芸員としての26年間の実務経験を活かし、具体的事例を多数紹介しながら授業を行う。また、講義のテーマだけでなく、遺跡の調査や遺物整理、調査報告書作成についての合理的方法についての講義も行う。
史料講読I	内山 京子	2	伝記史料の編纂・公刊事業の実務経験を有する。
史料講読II	内山 京子	2	伝記史料の編纂・公刊事業の実務経験を有する。
史学専門講義（日本史）	吉田 律人	2	横浜都市発展記念館主任調査研究員（学芸員兼アーキビスト）。博物館及び文書館施設に勤務するほか、自治体史の編纂事業にも従事。
史学専門講義（考古学）	大工原 豊	2	地方公共団体での埋蔵文化財専門職員および博物館学芸員としての26年間の実務経験を活かし、具体的事例を多数紹介しながら授業を行う。また、講義のテーマだけでなく、遺跡の調査や遺物整理、調査報告書作成についての合理的方法についての講義も行う。
考古科学	工藤 雄一郎	2	博物館職員としての実務経験を有する教員が、考古学における自然科学的分析手法に関わる実務経験を活かし、植物考古学について教育を行う。
日本文化史I	菅根 幸裕	2	博物館学芸員等としての実務経験を有する教員が、日本の伝統文化・民俗に関わる実務経験を活かし、文化史についての教育を行う。
日本文化史II	菅根 幸裕	2	博物館学芸員を長く務めた教員が、実際の資料を中心に講義する。
地域からみた日本の歴史III	榎本 博	2	講師は、地域博物館の学芸員として、地域に遺される古文書・歴史資料の収集・保存・調査研究・展示のほか、市民への教育普及やまちづくりに関わる実務を行っている。また、市町村史の編さんにも携わり、各種資料を日々取り扱っている。かかる経験を織り交ぜながら講義を進めていきたい。
地域からみた日本の歴史IV	黒川 徳男	2	栃木・茨城・群馬・埼玉・神奈川・東京などの自治体史編さんの実務経験を有する教員が、農村の地域史に関わる経験を活かし、農村・農業の近代史・地域史についての教育を行います。
考古学各論VII	水本 和美	2	國學院大學修士。 都市遺跡（江戸遺跡）の発掘・整理調査・研究。陶磁器、金属等の遺物研究。博物館における資料管理・展示・教育普及。自然科学分析。博物館の開設。環境アセスメント等委員（史跡・文化財）。
史学展開演習II（考古学）	青木 敬	2	奈良文化財研究所で、遺跡や建造物をはじめとする文化財の調査・研究に従事（2007～2016）。
日本時代史VII	栗田 尚弥	2	日中交流団体（（財）霞山会、戦前の東亜同文会）の日中関係史をまとめるプロジェクトにしばしば参加し、現在も同会のHPに日中関係史に関する記事を連載中。
文化景観各論II	佐々木 健策	2	地方公務員としての経験を踏まえ、公務員としての歴史学との関わり方や地域の歴史の見方、研究法を例示します。
日本史概論I	高橋 秀樹	2	授業担当者は、本学着任までの約18年間、文部科学省の教科書調査官として、日本史教科書の検定調査に従事していた。
文学部 史学科 専門科目の合計単位数			30 単位

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
東洋美術史 A	片岡 直樹	2	現在新潟産業大学教授。多摩美術大学、早稲田大学、國學院大學、東北芸術工科大学、富山大学等で非常勤講師を歴任。國學院大學で「東洋美術史」を講ずるのは19年目となります。
東洋美術史 B	片岡 直樹	2	現在新潟産業大学教授。多摩美術大学、早稲田大学、國學院大學、東北芸術工科大学、富山大学等で非常勤講師を歴任。國學院大學で「東洋美術史」を講ずるのは18年目となります。
日本美術史 A	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
日本美術史 B	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
美学・芸術学特殊講義ⅠA	藤原 えりみ	2	専門分野：西洋美術史および現代美術史 フリーランスのライターおよび編集者・翻訳者としての経験に基づいて、幅広い視点から美術作品やアーティストについて解説する授業を行う。
美学・芸術学特殊講義ⅠB	藤原 えりみ	2	専門分野：西洋美術史および現代美術史 フリーランスのライターおよび編集者・翻訳者としての経験に基づいて、幅広い観点から美術作品やアーティストについて解説する授業を行う。
美学・芸術学演習	藤澤 紫	4	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
美学・芸術学演習	洲脇 朝佳	4	学芸員としての勤務経験を有する。展覧会開催や文化財の指定・修理など、博物館業務および文化財保護業務に携わった経験を活かし、事例に基づいた授業を行う。
比較芸術学 A	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
比較芸術学 B	藤澤 紫	2	担当教員は美術館・博物館などの国公立の諸機関における展覧会、講演、文化財保護活動、および放送局・新聞社・出版社等の各種メディアとも連携しながら、美術に関わる社会活動にも携わっています。授業にも可能な限りその体験を盛り込み、美術業界のリアルタイムの動向についてお伝えするよう心掛けています。
文学部 哲学科 専門科目の合計単位数			24 単位

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
地域研究演習（イギリス・オーストラリアの法と社会）	ジョン・ミドルトン	2	オーストラリアおよびニューヨーク州において弁護士登録をしている。
政治と社会参加（社会を変えるNPO活動）	桔川 純子	2	担当者はNPOを運営しており、社会貢献をミッションとするさまざまな組織について、海外の事例も交えつつ、どのような社会で暮らし、どのような社会を創っていきたいのかを考え、持続可能な社会や地域づくりに必要な組織のあり方、ガバナンスの問題などについて考察する授業である。ワークショップも含む。
法教育入門	今井 秀智	2	担当者は弁護士であり、紛争解決のための「ものさし（解決基準）」の必要性を考え、法やルールがなぜあるのか、なぜ守らなければならないのか、守らなかったときに制裁が加えられるのはなぜかなどの考察を通じて、法や司法制度の根源的価値を学ぶ授業である。立憲主義教育、シチズンシップ教育にも検討・考察対象を広げている。
企業法務	友松 義信	2	信託銀行で企業コンプライアンスに長く携わるとともに、信託の研究を通じて学者・弁護士等と様々なファイナンス手法やコーポレート・ガバナンスに関する知見を得ることができました。それらを受講生の皆さんに共有して頂き、知見として今後の学習や社会生活に役立てて頂くことを期待しています。
社会保障法 A	北岡 大介	2	特定社会保険労務士・元労働基準監督官
行政学 A	稲垣 浩	2	横須賀市都市政策研究所（横須賀市企画調整部）、財団法人自治研修協会で研究員として勤務。自治体の審議会委員、研修講師としての経験あり。
心理学 A	伊澤 冬子	2	臨床心理士ならびに公認心理師の資格を有し、教育機関および医療機関での心理職として心理面接・コンサルテーションを担当した経験のある教員が、心の仕組みと働きについて学修する授業を行う。
法と社会参加（企業での活動と法）	花田 弘介	2	担当教員は、民間企業にて法務部員を経験した後に弁護士となり、現在は一般民事を中心に、企業法務や刑事事件等も含めて幅広く弁護士業務に従事している。 このような経験を踏まえて、経済生活・経済活動にかかわる法制度や法規の基本的な事項について、基礎的な知識の習得を目指す授業である。
行政法ⅠA	平 裕介	2	授業担当者は、弁護士（2008年登録、東京弁護士会）として多くの訴訟（主に行政関係訴訟）、行政不服審査等の担当経験を有しています。また、現在、国立市行政不服審査会委員、小平市建築審査会委員、杉並区法律相談担当員、江戸川区法律アドバイザー（行政法関連の法律相談を担当）等の自治体等公的な団体の公職や研修講師等を担当し、行政法の研究成果と法曹の実務経験を踏まえた専門的知見を市民や事業者の方々や自治体の公務員等の方々に提供しています。
NPO論	重田 康博	2	担当教員は、民間企業、政府の特殊法人、外務省の財団法人、イギリスのNGO、国際協力NGO、大学などで働いてきた経験を基に、授業を実践的に行う予定である。
20世紀の政治 A	高杉 洋平	2	海上自衛隊生徒 1995～1998 宮内庁書陵部 2008～2012 日本銀行金融研究所 2014～2017
メディア論	持田 周三	2	新聞社の政治記者、テレビ局の報道担当などを務め、主として政治分野の取材・報道やマスメディアの経営などに携わってきました。そうした実務経験を活かして、取材・報道現場の実情、メディアの内実も紹介しながら、ネット時代の報道・ジャーナリズムのいま、これからを考えていきます。授業を通じて、ニュースを通してみなさんの社会への関心が強まり、メディアリテラシーが高くなることに役立てればと思います。

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
経済法 A	鈴木 健太	2	講師は、独占禁止法を専門的に運用する国の行政機関である公正取引委員会（内閣府の外局）に勤務している国家公務員であることから、実務家としての経験・認識（独占禁止法に限らない）についても紹介していくこととしたいと思います。
日本外交史 A	富塚 一彦	2	外務省外交史料館において、外交史料集『日本外交文書』の編集を担当。特に戦前期の日中関係を主として担当してきたので、重要な関係史料を数多く紹介していきたい。
法と社会参加（高齢者の財産管理における法律実務）	浦町 謙太郎	2	講師は、司法書士、行政書士、マンション管理士として成年後見や民事信託等の高齢者・障害者の財産管理をはじめ、相続、不動産登記、商業登記、会社法務、債務整理、マンション管理等の法律事務に従事しています。
法学部 法律学科 専門科目の合計単位数			30 単位

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
経済学特殊講義（証券アナリスト）	福田 徹	2	講師は、現役で上場企業の証券アナリストレポートを書いている。上場のアドバイス、上場企業のInvestor Relationsのコンサルティングも行っている。直近ではESG、統合報告書、気候変動対策のアドバイスもしている。
プログラミング	岡田 長治	2	IT企業での実務経験を持つ担当教員が、プログラミングの基礎知識を講義する。
情報システム	高橋 尚子	2	ICT企業での実務経験を持つ担当教員が、ICT社会における情報システムとこれからのスマート社会について解説する授業である。
データ管理	三ツ矢 眞紀	2	電気メーカーの営業部門にて、Accessを利用したデータベースの構築と運用管理、及び部署内のパソコン教育を担当。 1998年から資格の学校等で、情報処理技術者試験の試験対策講座を担当（現在はITパスポート講座、情報セキュリティマネジメント講座を担当）。
経済学部 共通専門教育科目の合計単位数 8 単位			
金融の基礎	塚崎 公義	2	1981年から2005年まで日本興業銀行（現みずほ銀行）に勤務し、金融関連の業務に従事していた。その時の経験をもとに「世の中で実際に起きている、生きた金融現象」についても学生の理解を深めたい。
アジア経済史	高橋 克秀	2	日本経済新聞記者として国際経済の取材経験豊富。
経済学特論（金融リテラシー）	木村 秀史	2	SMBC日興証券にて公益法人業務部長、金融市場部長、高松・長野・宇都宮にて支店長を歴任。金融市場の幅広い知識と経験、実際の資産形成のアドバイスの実務経験を有する。
経済学部 経済学科 専門教育科目の合計単位数 6 単位			

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
マーケティングの基礎	端 義幸	2	大手電機メーカーで30年以上、広告、コミュニケーション、マーケティングの実務に関わってきた。その後5年間化粧品会社でインスタグラム立上げ、PR等のコミュニケーション業務に携わってきた。そういった経験を生かし、より実践的で社会にでた時に役に立つ授業にしていきたいと考えている。
現代ビジネス	手塚 貞治	2	約30年間のコンサルタント経験をもつ教員が、実務経験を踏まえて指導を行う
組織行動	辻 和洋	2	・読売新聞大阪本社記者、産業能率大学総合研究所職員などを歴任 ・職場内のプロジェクトリーダーとして成果を残した経験がある ・組織開発のチェンジエージェントとして学校教員の働き方改善を実践した経験がある
ビジネスソリューション	手塚 貞治	2	約30年間のコンサルタント経験のある教員が、コンサル実務を踏まえて指導を行う。
国際会計	関根 俊	2	米国・日本において、米国証券取引委員会（SEC）登録企業を含む米国および日本企業の会計監査に従事した後、2001年から主にグローバル企業に対してIFRSの知見も生かして広範囲なM&A関連サービスを提供しており、本講義では理論と実務の両面からIFRSを解説していく。 シカゴ大学経営大学院修士課程修了（MBA）。米国公認会計士（カリフォルニア州）
税務会計	佐藤 謙一	2	過去に国税庁等で勤務し、現在は税理士として実務に携わっている担当教員が、税金を計算する目的で課税所得等を算出する税務会計について解説する授業である。
企業法	原 省三	2	長年にわたり、国税職員として企業の法人税調査や課税争訟事務に従事してきました。講義においては、これまでの経験を踏まえ、企業活動に関わる課税問題についても言及したいと思います。
ベンチャービジネス	小野 正人	2	ベンチャーキャピタル、金融機関等に20年以上の実務経験のある教員が、業務の経験を活用しながら講義を運営する。ベンチャービジネスの経営の実例やケーススタディを用いて、受講者に現実を理解させるように努める。
日本の中小企業	手塚 貞治	2	約30年間のコンサルタント経験のある教員が、中小企業の実態や成長戦略のありかたを実務経験を踏まえて解説する。
事業承継	手塚 貞治	2	約30年のコンサルタント経験のある教員が、実務経験をもとに解説する
経営分析	小野 正人	2	金融機関、投資会社等で20年以上勤務した教員が、業務の経験を活用しながら講義を運営する。講義においては企業の実例を用いて受講者に現実を理解させるように努める。

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
広告論	端 義幸	2	大手電機メーカーで30年以上、広告、コミュニケーション、マーケティングの実務に関わってきた。その後5年間化粧品会社でインスタグラム立上げ、PR等のコミュニケーション業務に関わってきた。そういった経験やネットワークを活かして、より実践的で社会にでて役に立つ授業にしていきたいと考えている。
企業監査	石黒 良一	2	担当教員は、監査法人に所属し、公認会計士として監査業務に従事しています。
経済学部 経営学科			専門教育科目の合計単位数 26 単位

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
神道教学特論	小平 美香	2	現任の神職として、神社での教化活動の経験を活かし、実践的な授業を行う。
神社管理特論	新井 君美	2	労務管理および労働社会保険関係諸法令を専門とする社会保険労務士資格を保有。神社本庁教学研究所、渉外部渉外課長を経て、現在は秩父神社を本務として埼玉県神社庁研修所講師を兼務するなど後進の指導にあたっている。
宗教考古学I	笹生 衛	2	県教育委員会事務局の文化財保護の専門職員として埋蔵文化財の発掘調査と、指定文化財の保護・活用に従事しました。また、公立博物館の学芸課員、青少年教育施設の専門職員としての勤務経験もあります。
神社管理研究I	岡市 仁志	2	現在、神社本庁総合研究部研究祭務課長として勤務
神道と国際交流II（2）	岩橋 克二	2	担当教員は現任神職で、神社本庁の国際交流実務担当の職員・責任者として、第一線で活動した経験を有する。学生は、教員の実務経験に即した課題意識に導かれながら、国際交流とは何か、日本文化や他国・他宗教の知識、英語で表現できること・できないこと、これまで神社神道が行ってきた国際交流、について学び、交流実践に必要な力を身につける。
現代時局論	小林 威朗	2	奉務神社での神職歴は約20年。直近の10年は、埼玉県神道青年会、埼玉県神社庁教化委員、庁報編集委員などで埼玉県内の神道教化を考えつつ、ここ5年間は本学非常勤講師として神道教化概説を担当している。
古典講読IA	武田 秀章	2	神社新報社、神社本庁で実務経験。
神社管理研究I	藤本 頼生	2	神社本庁において平成9～23年まで14年間奉職経験有。
神道と書道I	高橋 智紀	2	高等学校教員として芸術科書道の授業を長年担当。楷書・行書をはじめとする各書体および篆刻・仮名などの書道分野を広く得意としている。賞状類・講演会演題等の筆耕経験が豊富であるほか、高等学校芸術科書道の教科書で硬筆ページを執筆している。
宗教考古学II	笹生 衛	2	県教育委員会事務局の文化財保護の専門職員として埋蔵文化財の発掘調査と、指定文化財の保護・活用に従事しました。また、公立博物館の学芸課員、青少年教育施設の専門職員としての勤務経験もあります。
祝詞作文I	岸川 雅範	2	神職として日々、御神前にて祭祀を行い、参拝者の参列する中で祈願に奉仕している。
神道文化学部 神道文化学科		専門教育科目の合計単位数	22 単位

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
教育課程論（小）	田沼 茂紀	2	公立小学校教諭を経て国立大学教育学部に勤務し、人間開発学部創設時より本学部にて教員養成に携わっている。専門は教育学の分野である道徳教育学、教育カリキュラム論等である。
初等科教育法（生活）	三田 大樹	2	東京都公立学校教諭、副校長、教育委員会での統括指導主事、主任指導主事の経験を活かして、実践的で実際の学校現場における指導のイメージがもてる講義に努めます。☑
初等科教育法（図工）	山成 美穂	2	・公立小学校における臨時の図画工作科専科教員として指導経験（2年間） ・公立美術館における子どもアートプログラムの企画・ワークショップ講師（4年間） ・子どもアトリエ（絵画・造形）主宰・指導経験（20年間） ・重度知的障害者デイケアセンターにおける創作活動始動（3年間） ・ドイツの青少年芸術学校におけるインターン（4年間） ・4年制大学と短期大学の保育者養成・教員養成課程における指導法および実技の指導（11年間）
図工概説	山成 美穂	2	・公立小学校における臨時の図画工作科専科教員として指導経験（2年間） ・公立美術館における子どもアートプログラムの企画・ワークショップ講師（4年間） ・子どもアトリエ（絵画・造形）主宰・指導経験（20年間） ・重度知的障害者デイケアセンターにおける創作活動始動（3年間） ・ドイツの青少年対象アートスクールにおけるインターン（4年間） ・4年制大学と短期大学の保育者養成・教員養成課程における指導法および実技の指導（11年間）
初等科教育法（国語）	成田 信子	2	小学校学級担任 小学校教諭として、授業全般を担当し、主にことば、国語科についての実践研究を行った。
初等科教育法（社会）	安野 功	2	埼玉県公立小学校教諭、教育委員会指導主事、文部科学省教科調査官の経験を活かして、自ら社会科の模擬授業を行ったり、現場の授業実践を取り上げて講義を行うなど実践的な社会科教育を行います。
生活科概説	三田 大樹	2	東京都公立学校教諭、副校長、教育委員会での統括指導主事、主任指導主事の経験を活かして、実践的で実際の学校現場における指導のイメージがもてる講義に努めます。
初等科教育法（理科）	寺本 貴啓	2	静岡県小学校、中学校教諭の経験を活かして、実践的な理科教育を教えた。
国語概説	成田 信子	2	小学校教員
社会科概説	安野 功	2	埼玉県公立小学校教諭、教育委員会指導主事、文部科学省教科調査官の経験を活かし、現場の授業実践を取り上げて講義を行うなど実践的な社会科教育を行います。
特別活動の理論と方法（小）	杉田 洋	2	さいたま市立小学校教諭、国立教育政策研究所、文部科学省での勤務の経験を活かして、実践的で、公的根拠に裏付けられた特別活動の授業を実施。
人間開発学部 健康体育学科			専門科目の合計単位数 22 単位

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
スポーツ心理学	伊藤 英之	2	スポーツメンタルトレーニング指導士の資格を所有し、アスリートおよびスポーツチームや団体を相手に心理的指導やサポートをしている教員が、スポーツ心理学の基礎的な理論や指導現場での応用について講義する。
救急法	富田 一誠	2	整形外科医、救急医、スポーツ医として豊富な知識と経験を元に講義を行う。
健康管理論	富田 一誠	2	医師としての豊富な知識と経験を元に講義を行います。
発育発達論	川田 裕樹	2	健康運動指導士、JATI認定トレーニング指導者資格（JATI-ATI）を有している。
体づくり運動	大矢 隆二	1	企業勤務を経た後、高校教員として教育現場に従事。本学における教員養成の実務経験を活かし、運動指導にあたる。専門は教育学の一分野の「体育科教育学」である。
スポーツアナリティクス演習	渡辺 啓太	2	バレーボール日本代表チームのアナリストとしてオリンピックでのメダル獲得をサポートした経験がある教員が実務経験を踏まえ、コンピュータを活用した情報処理の実践について講じている。
スポーツ医学	富田 一誠	2	日本オリンピック委員会医学サポート部員、野球日本代表チームドクター、スポーツ医、整形外科医として豊富な知識と経験を元に講義を行います。
メンタルヘルス	伊藤 英之	2	メンタルトレーニング指導士として、小学生～社会人のスポーツ実施者に心理的支援を行っている。
コンディショニング	富田 一誠	2	整形外科医、スポーツ医として豊富な知識と経験を元に講義を行います。
スポーツ行政論	高松 政裕	2	2007年弁護士登録、2014年 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構理解増進事業専門員、 慶應義塾大学大学院法務研究科講師「スポーツと法」【法科大学院、JD】（2014年～）、「Sports Law and Dispute Resolution」【LLM】（2018～）
スポーツと法	高松 政裕	2	2007年弁護士登録、2014年 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構理解増進事業専門員、 慶應義塾大学大学院法務研究科講師「スポーツと法」【法科大学院、JD】（2014年～）、「Sports Law and Dispute Resolution」【LLM】（2018～）
球技ネット型Ⅰ	渡辺 啓太	1	バレーボール日本代表チームのアナリストとしてオリンピックでのメダル獲得をサポートした経験がある教員が、実務経験を活かした指導で競技の魅力を伝えるとともに、競技スポーツ・生涯スポーツとしてのバレーボールを多面的に学修する。
器械運動	笹田 夏実	1	体操競技を16年間選手として活動し、全日本選手権出場、世界大会出場の経験があります。また、体操競技のコーチとして世界大会に選手の帯同として参加したことがあります。
人間開発学部 健康体育学科			専門科目の合計単位数 23 単位

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
保育内容（環境）	吉永 安里	2	幼稚園での実務経験のある教員が授業を行う
保育内容（言葉）	成田 信子	2	幼稚園・小学校での教員としての経験を生かし、乳幼児期から小学校入門期の言葉の発達やそれを支える保育者の支援、また言葉を育む指導について、理論面と実践面の両面から講義を行う。
こども生活基礎論	夏秋 英房	2	現在は、学校運営協議会制度をとっている公立小学校（コミュニティ・スクール）の委員や、地域のNPO法人の役員、医療法人の評議員を務めている。その他、内閣府の審議会やいくつかの自治体の教育委員会の審議会の委員を務めてきた。
保育内容（健康）	梶島 香代	2	文京学院大学ふじみ野幼稚園および文京幼稚園二園アドバイザー 文京学院大学保育実践研究センター「ふらっと文京」教員研究員
保育内容（人間関係）	梶島 香代	2	（社）日本児童手当協会 こどもの城保育研究開発部で3歳未満児の保育、子育て支援など、東京学芸大学教育学部附属幼稚園教諭として保育現場経験がある。
幼児と言葉	吉永 安里	2	幼稚園、小学校における教員経験を生かし、児童文化についての知識のみならず、保育場面での活用についての演習も取り入れながら講義を展開する。
乳児保育II	塩谷 香	2	保育士としての実践経験から、子どもの発達や生活にふさわしい教材選定や環境構成は発達の適切な理解や子どもの実態をよく理解していないとできないことだと実感している。座学だけではなかなか理解できないことも自分自身で経験してみることで、子どもたちには何が必要でどんな生活の体験が必要なのかを深く考察し、学んでほしいと期待している。
子ども家庭福祉	廣井 雄一	2	児童福祉施設での勤務経験を踏まえ、授業を進めていく。
保育内容（健康）	鈴木 みゆき	2	駒場幼稚園理事（平成7年～平成11年）
乳児保育I	塩谷 香	2	保育士としての実践経験から、子どもの発達や生活にふさわしい教材選定や環境構成は発達の適切な理解や子どもの実態をよく理解していないとできないことだと実感している。座学だけではなかなか理解できないことも自分自身で経験してみることで、子どもたちには何が必要でどんな生活の体験が必要なのかを深く考察し、学んでほしいと期待している。
子育て支援	野澤 純子	2	児童発達支援センター心理相談員、保育巡回相談の経験を生かして、基礎的情報に加え、事例や指導の実際などの具体的な講義を展開する。
子どもの食と栄養II	貝原 奈緒子	2	保育所における管理栄養士、小学校における管理栄養士
子どもと自然体験活動	青木 康太朗	2	青少年教育施設で10年の勤務経験がある専任教員が、その実務経験を生かし、野外活動やレクリエーション等に関する実践的な指導を行う。
人間開発学部 子ども支援学科 専門科目の合計単位数 26 単位			

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
民俗学概論	小林 稔	2	博物館学芸員や文化財調査官の勤務経験のある教員が、その実践的知識と経験を生かしつつ、観光まちづくりの理解に向けた一助を講じる。
地域文化創造論	小林 稔	2	博物館学芸員や文化財調査官の勤務経験のある教員が、その実践的知識と経験を生かしつつ、観光まちづくりの理解に向けた一助を講じる。
田園回帰論	嵩 和雄	2	熊本県阿蘇郡において9年間都市農村交流事業、人材育成事業、旅行商品づくりの企画・運営に従事後、国内最大の地方移住支援を行うNPOにおいて11年間移住相談をはじめ、移住に関わる政策立案、起業支援、人材育成、研修事業等を行ってきた知見とネットワークを活かし、実践的な授業を行う。
交通計画	大門 創	2	技術士（建設部門）資格保有者として、国や地方公共団体の都市政策や交通政策の策定に従事した経験を踏まえ、交通の基礎・政策・事例を概説する。
観光マーケティング	井門 隆夫	2	観光専門シンクタンクにおける各地の地域振興や事業再生を目的としたマーケティング計画策定支援業務の経験を活かした授業を行う。
観光事業論	小林 裕和	2	教員は旅行業、鉄道業、海外勤務など観光事業における実務経験を有する。観光DX、宿泊DXなど国の事業に関連する委員なども行っている。
旅行産業論	小林 裕和	2	教員は旅行業に従事した実務経験がある。カウンター販売、法人営業、添乗、経営企画、事業開発、訪日インバウンド旅行、香港・オランダにおける海外勤務など。
宿泊産業論	井門 隆夫	2	観光専門シンクタンクにおける各地の地域振興や事業再生を目的としたマーケティング計画策定支援業務の経験を活かした授業を行う。
都市と地域の交通	大門 創	2	技術士（建設部門）資格保有者として、国や地方公共団体の都市政策や交通政策の策定に従事した経験を踏まえ、交通の基礎・政策・事例を概説する。
アートと地域振興	椎原 晶子	2	台東区谷中界限や東京東部にて、古民家の再生やまちづくりと連動する形でのアート企画の運営に参画。旧平櫛田中邸での文化芸術活動サポート、谷中界限で1993年より行われる「藝工展」、2020年より開始の「東京ビエンナーレ」等。
地域の観光情報メディア	楓 千里	2	（株）日本交通公社および（株）JTBパブリッシングに勤務し、観光情報の発信に長年携わる。月刊『るるぶ』副編集長、月刊『旅』編集長を務める。ソリューションビジネスの担当役員として、自治体や観光協会などの情報発信の推進も経験している。
観光まちづくり学部 観光まちづくり学科 専門科目の合計単位数			22 単位